



夜久野の秋の風物詩

夜久野郷総社一宮神社
御神木の御幸
二階が回転する山車の巡行
太鼓屋台 子供神輿
野菜でのつくりもん「下ダシ」

京都府
無形民俗文化財
福知山市無形民俗文化財
額田のダシ

京都随一の

額田の祭り

2026 NUKATA NO MATSURI
Autumn in Yakuno
10月10日(土)・11日(日)
会場／JR 下夜久野駅周辺、額田地区

- 主催／額田区
- 後援／福知山市・(一社) 森の京都地域振興社 (森の京都 DMO)
- 協賛／福知山市商工会・夜久野みらいまちづくり協議会
- 発行元／「額田のダシ」振興会 事務局 080-6115-7773 (衣川)

- 山車(ダシ)・太鼓屋台の巡行
10日(土) 18:00～23:00
11日(日) 8:00～12:00
11日(日) 9:30～10:30
クライマックス・踊り・曳き揃え
- 一宮神社の御神木の巡幸
11日(日) 13:30～22:00 頃
- 下ダシ(つくりもん)の公開
10日(土) 12:00～20:00
11日(日) 8:00～21:00

額田の祭り《京都府無形民俗文化財・福知山市無形民俗文化財》

全国的にも珍しい「額田のダシ」と言う独特の伝統文化。豊かな野山の幸を材料に、古今東西の物語や話題に趣向を凝らした「つくりもん」で、「下ダシ」と呼ばれ 100 年余りの歴史を語る。自然の素材で機知に富んだ創作は、自然の味わいに満ちて人々の感動を誘う。祭り囃子も賑やかに、西日本でも珍しいと云われる「二階の廻る山車」二基、さらに「太鼓屋台」「子供神輿」の巡行で祭りはクライマックス。古代信仰の名残を今に伝える一本の木のミコシ「御神木の走行御幸」がある。全家庭の祭壇を引立てる屏風と生花、御神燈に灯りが入る田舎通りのたたずまいは華やかさの陰に一抹の淋しさを含み、失われかけた日本の祭りの原風景である。現代生活に疲れた人の心を癒す何かがある。



野菜のつくりもんは1905年に山車で走っていた子ども歌舞伎が廃止されたときに地区の青年達が五穀豊穡に感謝し、野菜で川中島合戦をつくったところ好評であったため、額田全域で毎年つくることになったとされる。

2025年の下ダシ



私たちは、福知山市夜久野の誇り『額田のまつり』を支援しています。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| (株)クリア
福知山市商工会
スミちゃんファーム
やくの高原市
インテリア衣川 | 旦有志会
衣川憲治税理士事務所
(株)衣川組
(株)くさか
フジヤクリーニング | (有)夜久野自動車
(有)藤本石油
西垣内科医院
天田瓦店
東光寺 | 汁なし担々麺 とがし
JA京都にのくに夜久野支店
農家民宿 米ya
ミニフレッシュ夜久野店
ボディショップ オクダ | 京都北都信用金庫額田支店
はっかく亭
caféムムの森
宮カフェ
東通商(有) |
|---|---|---|---|---|

※協賛企業として賛同いただいた方です。(個人協賛の方はストリートマップに掲載させていただきます)

【順不同】